

ライブラリーナビゲーター

# Library Navigator

Special Feature 1

各学部の先輩から  
新生生にお薦めの1冊

Special Feature 2

読楽コーナー開設

Special Feature 3

2007年度後期 利用ランキング発表!!

## CONTENTS

- P.2 大学生のうちに読んでおいてほしい本
  - P.3 [速報1] 機関リポジトリ「R<sup>3</sup>」スタート
  - P.4 [速報2] RUNNERSリブレース
  - P.6 [特集1] 各学部の先輩から 新生生にお薦めの1冊
  - P.10 [特集2] 読楽コーナー開設
  - P.12 [特集3] 2007年度後期 利用ランキング発表
  - P.14 学生ライブラリースタッフの紹介
  - P.15 Information
- 立命館大学図書館開設百周年 記念展覧会・シンポジウム実施報告  
生命科学部・薬学部の図書・データベースの充実化  
白川静文庫の開設

立命館大学  
図書館だより

2008.3  
105

# 大学生のうちに 読んでおいてほしい本

vol.② 谷口 吉弘 先生 (生命科学部長)

今号はコレ!



手に汗にぎる緊迫した研究レースの中から見えるもの。

## 『二重らせん』

ジェームス・D・ワトソン著・江上 不二夫／中村 桂子 訳 (講談社文庫) 1986年

約30億の塩基対からなるヒトの全遺伝情報 (ゲノム) の全体像の解明で21世紀が幕を開けたことを受けて、医療や健康に深いかかわりをもつ「生命科学」に大きな期待が寄せられています。ゲノムの本体は化学物質DNA (デオキシリボ核酸) で、4つの塩基が長く繋がった高分子として、生物の細胞の中に存在しています。4つの塩基の並びを塩基配列といい、1953年に米国人のジェームス・ワトソンと英国人のフランシス・クリックによってDNAの二重らせん構造が発見されました。その構造から親のDNAが子に伝わる複製 (遺伝) のしくみとDNAが生命現象において、実際にはたらいっているさまざまなたんぱく質を設計していることが明らかになりました。特にDNAの中でたんぱく質をつくる塩基配列の部分で遺伝子とよび、この約半世紀前のDNAの二重らせん構造の発見が現代生物学の原点といえるでしょう。

私が、ここで、推奨するジェームス・D・ワトソン著による『二重らせん』は、DNAの二重らせん構造を発見し、後にノーベル医学・生理学賞を受賞した科学者の記録です。遺伝の基本物質であるDNAの構造を解明するまでの経緯を異様に感じられるくらいなまなましく描かれ、そのもつ不

思議な魅力にひきつけられて、一気に読み終えると、あとに爽快な感動が残ります。これは、第一にDNA二重らせん構造の発見という偉大な業績へと導いた経過の面白さとともに、ここに書かれている科学者たちの心の底にある誠実さと、著者自身の異常とさえ思われるほどの卒直さのためではないかと思われま

す。化学が苦手、X線構造解析の知識のない研究者として出発したばかりの著者が、アメリカからヨーロッパにわたり、当時、キャンディッシュ (ケンブリッジ大学) において、構造生物学の研究対象としてDNAが注目されない中で、明けても暮れてもDNA研究に打ち込んだことが、ポリング博士 (たんぱく質のらせん構造を解明し、ノーベル化学賞を受賞したアメリカの著名な物理化学者) との激烈な競争に勝ちぬいてノーベル賞を手にするようになりました。手に汗にぎる緊迫した研究レースの中で、世界一流の研究で成功を収めるためには、人間として研究者としてどのような行動をとるべきかを、「生命科学」の時代を生きる学生の皆さんに『二重らせん』からぜひ学んでいただきたいと思います。

2008年4月1日から、立命館大学の機関リポジトリ「R<sup>3</sup>」をスタートします。

## 01 機関リポジトリ「R<sup>3</sup>」とは？

機関リポジトリとは、「大学および研究機関で生産された電子的な知的生産物を捕捉し、保存し、原則的に無償で発信するためのインターネット上の保存書庫」です。

「R<sup>3</sup>」は、立命館大学の機関リポジトリを指します。立命館大学に所属する教員や研究者によって執筆された学会誌や紀要等を、電子化して登録し、検索と閲覧を可能にするデータベースのことです。なお、「R<sup>3</sup>」という名称は、「Ritsumeikan Research Repository」の頭文字をとっています。

## 02 なぜ機関リポジトリを作るの？

機関リポジトリをインターネット上で公開することで、立命館大学で創造された知的生産物を簡単に入手することができます。また、国際的に発信することで、学園内の研究活動の認知度・信頼性・社会的価値を高めるとともに、国際的な学術研究の発展に貢献します。

## 03 他大学でも機関リポジトリを作っているの？

国内では試験公開中の大学も含め60大学以上で、海外では700大学以上で、機関リポジトリ構築の取組みが行われています。

2007年以降、朝日新聞、日本経済新聞、京都新聞等の記事で、諸大学の機関リポジトリの取組みが掲載され、機関リポジトリの果たす役割が注目されています。

## 04 どうやって利用できるの？

図書館ホームページから利用できます。コンテンツは日を追って増えていきます。ぜひ活用してください。

### ロゴマーク決定

「R<sup>3</sup>」のロゴマークは、衣笠・BKCの学生ライブラリースタッフから募集し、厳正な審査の結果、上坂晃雅さん（理工学研究科M1）の作品に決定しました。

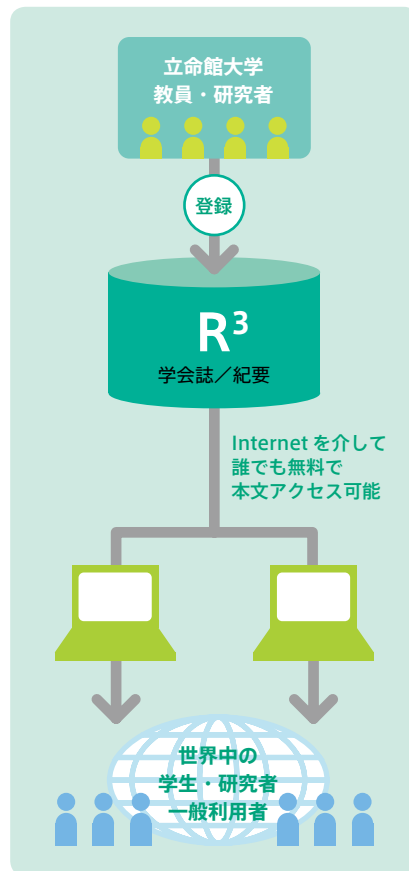
このロゴマークは、機関リポジトリの検索画面や機関リポジトリ関連グッズ等でみなさんの目に触れます。

R<sup>3</sup>ロゴマーク  
最優秀賞  
受賞者のコメント

理工学研究科M1  
上坂晃雅さん

今回、私が製作したロゴが機関リポジトリのロゴに選ばれ、驚くと同時に、大変嬉しく思います。製作したロゴには、立命館大学の教職員や研究者から、世界中の研究者へと学術成果が無限(∞)に広がることをイメージして製作しました。

機関リポジトリは世界中にあり、各大学の学術成果を閲覧ことができ、自身の成果を世界に向けて発信することもできます。今後、このロゴマークと共に機関リポジトリが広く利用され、図書館の活性化につながることを期待しています。



R-Cube<sup>3</sup>  
Ritsumeikan  
Research  
Repository  
Collaborative Repository of Ritsumeikan Univ & APU

2008年3月18日、RUNNERS(学術情報システム)が新しくなりました。

## こんな新機能・新設備！ 第1弾

- 01 蔵書検索の結果画面の「配架場所」の表示が見やすくなりました!
- 02 図書・雑誌に加え、“AV資料”を検索できるようになりました!
- 03 入館ゲートをリニューアルしました!

### ● Point 1

蔵書数が年々増加し、図書館以外の場所に所蔵するケースが増えていきます。そこで、RUNNERSの検索結果画面から資料に辿りつきやすい名称に変更しました。



### ● Point 2

本や雑誌以外に、CD-ROMやDVDといったAV資料が増えていきます。そのため、検索対象をAV資料に絞り込んで検索できるようにしました。



検索画面で、「検索対象」を「AV資料」を選択して検索すると、「AV資料」のみの検索結果が表示されます。



詳細表示は、図書等と同様に、学内の所在が表示されます。「大きさ」の項目を見れば、メディアや映像時間の長さがわかります。

### ● Point 3

RUNNERSのリニューアルにあわせて、衣笠・BKCの入館ゲートもリニューアルしました。通路の幅を広くし、車椅子の方でも利用が可能となりました。ゲートの高さが低くなった分、開放感のあるエントランスに生まれ変わりました。

※入館ゲートの通り方は今までどおりです。学生証をスリットに通すと、ゲートが開きます。



衣笠図書館



BKCメディアセンター



BKCメディアライブラリー



## こんな新機能・新設備！ 第2弾 → Comming Soon!!

- 01 RUNNERSから電子ジャーナルを検索できるようになります！
- 02 Web購入希望の機能がバージョンアップします！
- 03 学部生・院生に対して、学外文献複写・貸借のWeb申込を開始します！
- 04 蔵書検索の結果画面に、図書館の表紙画像が表示されるようになります！

\*第2弾のサービスは、今後提供を予定している機能で、環境が整い次第順次提供していきます。ご期待ください!!

### ● Point 1

各データベースにアクセスしなくても、RUNNERSの蔵書検索で電子ジャーナルが検索できるようになります！



雑誌のタイトルを入力して検索すると、電子ジャーナルも検索結果に出ます。

詳細表示から「e-journal」をクリック。

電子ジャーナルの全文へリンクします。

### ● Point 2 & 3

購入希望に加え、学外文献の複写・貸借も、Web申込が可能になります。

Web申込フォームは、情報を直接入力しなくてもRUNNERSの情報から流用できるようになります。



購入リクエストは、検索結果画面の「図書購入申込」をクリック。

学外文献の複写物の取寄せおよび現物の借用は、検索結果画面の「複写・借用申込」をクリック。

タイトル等の情報が入っている申込画面がひらきます。

### ● Point 4

RUNNERSの検索結果の画面に資料の表紙画像が表示されます。(Amazonのデータと連携している資料が対象)



「読みたい本や論文があるけど、探し方がわからない」や「欲しい資料を探すのに時間がかかる」と感じているあなた！  
ぜひ新しいRUNNERSを使ってください！  
そして、RUNNERSの達人になって、様々な活動に役立ててください!!

# 各学部の先輩から 新入生にお

大学生になって最初の一冊は何を読めばいいでしょう？

新入生のみさんの疑問にお答えするために、各学部の先輩から新入生にお薦めしたい一冊を選んでいただきました。いずれの図書も立命館大学図書館に所蔵しています。

大学生生活の最初の一步、学部の学習の最初の一步を、これらの図書を読んで踏み出してください。

法学部  
の  
新入生へ

法学部 法学科 3回生 佐伯 香織さん

『民法のすすめ』

星野英一 著 (岩波新書) 1998年

私がこの本を読んだのは、去年の春休みでした。「どうしてもっと早くこの本を読まなかったんだろう」と衝撃を受けました。古典や英語でもそうですが、何事も勉強するには、まず雰囲気をつかむと、すっと頭の中に入ってくるものです。この本は、民法が何のためにあるのか、民法がどういうものなのか、とてもわかりやすく書いてあります。執筆は1998年ですが、今の時代でも十分「なるほど!」だからこうなっているんだ!と現実社会とリンクしています。法律の授業は現実社会とは別の次元で展開していて、何の話をしているのだらうと思う方もいらっしゃるのでは?この本は、そういう方にこそ読んでいただきたい一冊です。法律が好きになりますよ。



産業社会学部  
の  
新入生へ

産業社会学部 人間福祉学科 3回生 福田 遊さん

『遺伝子があなたをそうさせる：喫煙からダイエットまで』

ディーン・ヘイマー、ピーター・コーブランド著 (草思社) 2002年

ちょっと気になるタイトルだと思いませんか?「私っていったい何者?でも、アイデンティティーなんて言われるとなんだか難しく感じてしまう…。」そんなあなたにお薦めしたい一冊です。

原書のタイトルは、「Living with Our Genes」。「遺伝子」と「私」の密接な関係—私たち一人ひとりの「生き方」に遺伝子が与える強い影響を教えてくれる本です。

「私」とは何か。この答えを探すヒントが、もしかしたらこの本から見つかるかもしれません。長い大学生生活、自分自身について一度「遺伝子」の視点から考えてみてはいかがでしょうか。



文学部  
の  
新入生へ

文学部 人文学科 2回生 戸上 優さん

『昔話の深層』

河合 隼雄 著 (福音館書店) 1977年

白雪姫の「まま母」が本当は実母だったと知っていましたか? ユング心理学の第一人者である作者は、単なる作品分析にとどまらず昔話から私たちの心の深層にある、母性の持つ恐ろしさを抉り出します。昔話とは人間の内的な成熟過程の段階を描き出したものと捉え、他にも「ヘンゼルとグレーテル」の魔女は彼らの母親と同一人物であり、自我を確立するための母親殺しの物語であること、昔話に3という数が頻発する意味、昔話で読み取れる男性の持つ女性像などが書かれています。ユングの考察を昔話という親しみやすいテーマで学ぶことができ、心理学や民俗学に興味がある方には是非お薦めします。幼いころに読み聞かせてもらった昔話と、再び違った形で出会えるでしょう。



# 薦めの1冊



国際関係学部  
の  
新生へ

国際関係学部 国際関係学科 4回生 百武 亜沙子さん

『もっと早く受けてみたかった国際政治の授業』

蟹瀬 誠一 著 (PHP研究所) 2007年

この本では、戦争の起きる原因、国家とは何か、資源をめぐる争い、貿易、人口の変動・・・などといった幅広い内容に関して、紙上の講義形式でわかりやすく解説しており、国際情勢を理解する入門書として適当だと思います。

国際関係学や国際法といった、実際に学部の授業で習うものと同じような事柄も説明されていたりします。よく「国際関係って何を勉強しているの?」などと聞かれることがありますが、そのようなときにも、こういった本を読んでおくのと人に説明するのに役立つのではないのでしょうか。出版が2007年の9月と比較的新しいので、最近の事象も取り上げられています。



政策科学部  
の  
新生へ

政策科学部 政策科学科 4回生 米田 佳苗さん

『COURRIER Japon』

(講談社) 2005年～

政策科学部は法学部や文学部のように、学ぶ分野が決まっているわけではありません。そのため、幅広い視野を持つことが大切です。そんな政策科学部でこれから学んでいくみなさんにお薦めしたい本は、『COURRIER Japon』です。この雑誌は、日本在住の各国の特派員が書いた記事や、日本のことが紹介された各国の記事が主体の雑誌です。日本がどのように外国から捉えられているのかを簡単に知ることができます。読んでみると、日本に住んでいる私たちにはなかなか思いつかない所が日本のいいところとして紹介されているなど、新鮮な目を持つことができます。普段、つい忘れがちな自分の祖国のことですが、この雑誌を読むことでもう一度再発見して、新たな考え方を身に付けていってください。



映像学部  
の  
新生へ

映像学部 映像学科 1回生 長谷川 あずさん

『映像体験ミュージアム：イマジネーションの未来へ』

森山朋絵企画・編 (工作舎) 2006年

映像とは何か。私はこの本を読むまでは、映像分野とは映画や、ゲームや、写真など、あるいはそれから派生したものであるとばかり思っていました。皆さんもそう思っていないですか?この本はそんな考え方に警鐘を鳴らし、もっと根源的、もっと広範囲で、もっと面白いものなのだと教えてくれます。実は、「映像」は映画の誕生よりもっと前、聖書にだって書かれている概念なのだから!映像メディアが溢れる現在こそ、映像に関わっていく人間が「映像」を知る試みとして、映像概念を、人間が体験し表現してきた「視覚を芸術する」イマジネーションを、この本で味わってほしいと思います。この本には、玩具、哲学から、アニメ、メディアアート、視覚芸術の歴史まで、映像とその関わり、未来が、図版と詳細な説明、コラムで書き綴られています。「映像」分野を志す全ての人へ。「映像」の奥深さに、「視れば見るほど」味が出る、そう感じられる一冊です。



## Recommended Books From Seniors

### 経済学部 の 新生へ

経済学部 経済学科 2回生 片山 由衣さん

### 『マイクロ経済学：戦略的アプローチ』

梶井 厚志、松井 彰彦 著（日本評論社出版）2000年

経済学部の新入生の皆さんの中には、経済学をよく知らない方もいると思います。経済学と大きく括っても、専門科目の膨大さが示すとおりその種類は多様です。まず自分が興味を持つ分野を探しましょう。

今回私がおすすめしたいのは、『マイクロ経済学 戦略的アプローチ』です。この本は「マイクロ経済学」「経済戦略論」「ゲーム理論」の分野を扱っており、内容は少々難しいですがその書き方はコミカルで読みやすく、各章の冒頭閑話は微妙に繋がっていて、最後まで読み切る足掛かりになります。マイクロ経済学やゲーム理論に興味がある方、反対にまったく知らない方も、この著書を参考書に、または単に興味のある一冊として読んでみてはどうでしょうか。



### 経営学部 の 新生へ

経営学部 経営学科 2回生 江田 佳菜子さん

### 『eメールの達人になる』

村上 龍 著（集英社）2001年

皆さんの生活の中で、今やメールは、とても大切なコミュニケーション方法の一つでしょう。メールは時間や距離を飛び越え、相手と対話を試みる為の手軽な意思疎通の手段です。大学生になると、親しい人へ感情のままに送る個人的なメールのみでなく、教授や企業へ送るメール、メーリングリストで多数の目に触れるメールなど、使い方も変わります。活字のみのメールは「要件を伝える」ことが最大の目的。その無機質な仕組み、電話や手紙ではなく、メールだからこそ伝えられるメッセージを、本書では金融経済を中心としたメールマガジンJMM編者である著者が具体例と共に論理的に展開しています。手軽で便利なメール。もっと知的に、賢く使ってみませんか？



### 理工学部 の 新生へ

理工学部 ロボティクス学科 3回生 古島 慎也さん

### 『ロボット業界の最戦線の28人が語る！ロボットの現在と未来』

鴨志田 英樹 編著（エクスメディア）2005年

「将来のロボット産業はどのように発展していくのか」という素朴な疑問を同学科の先輩にぶつけてみたところ紹介されたのがこの本です。この本は、ロボット業界28人へのインタビュー形式で、それぞれのインタビューアの視点から「ロボットの現在と未来」がテンポ良くまとめられています。また、オールカラーの写真を交えており、非常に読みやすくなっています。通読することで、今後のロボット業界全体のビジョンとその課題を把握することができるでしょう。

ロボティクス学科に限らず、それぞれの学科で得る技術がどのように生かされ、今後どのように発展していくのかというビジョンを見据えた上で勉学に励んでください。





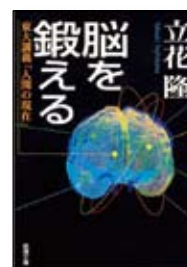


情報理工学部 知能情報学科 2回生 出口 明広さん

『脳を鍛える—東大講義「人間の現在」』

立花 隆著 (新潮社) 2004年

「脳を鍛える」とは、知識と言う名の樹木を育む事です。あなたは、これから新たなフィールドでスタートします。そこには様々な教養や知識が落ちています。どれを拾い捨てるかはあなた次第です。しかし、立派な樹木を育むには、たくさんの葉っぱが必要で、時にその葉っぱは、文学であったり、哲学であったり、物理学であったりします。一見、あなたの学部に関係の無い学問でも、聞く耳を立てても無駄にはなりません。なぜなら、それは視野を広げ、経験を積む事に繋がるからです。つまり、高い専門性のある知識と言うのは、幅広く様々な分野の知識の上で始めて成り立つ物です。自分の枝や葉を大きく広げ立派に立つ樹木ほど、立派な物は無いと私は思います。



情報理工学部 生命情報学科 3回生 木野 亮平さん

『遺伝子「不平等」社会：人間の本性とは何か』

池田 清彦 編著 (岩波書店) 2006年

ヒトゲノムが解読されたことをご存じでしょうか。ヒトの全DNAが解読されたことにより、現在では、ヒトの引き起こす現象を、遺伝情報に基づいた機能や仕組みとして、様々な解明しています。あらゆる現象が遺伝情報に基づくわけではないこともわかってきていますが、ならば、遺伝情報は、ヒトの引き起こす現象にどれほどの影響を与えているのでしょうか。この本はそんな問いかけに応じた説明をしています。また、遺伝子操作に関する是非、遺伝子の権利等、科学的な見地から社会的な話題を提供しています。編著者の生物学者と多様な専門分野の学者との対話形式の構成で、読み易く面白いです。読んでおいて損はない本だと思います。



薬学部 鈴木 健二先生

『利己的な遺伝子』

リチャード・ドーキンス著 (紀伊國屋書店) 2006年

本書の日本における初版は1980年3月で、最初は「生物＝生存機械論」という風変わったタイトルが付けられていました。当時大学1年生だった私は生協の書店でこの本と出会い、刺激的な文章に夢中になったことを覚えています。動物行動学を専門とするドーキンスによる生物進化に関する主題は、薬学はもとより生物学一般からいってもかなり限定された分野といえますが、大学がすぐに役立つ知識を教えてくれるだけのところではなく、自ら進んで勉強する機会を与えてくれる場であるとするならば、本書は新生生にとって「知的探求の旅へのガイドブック」として相応しいと思います。同時に「自然界の驚異に魅了される喜び」を与えてくれることも間違いありません。



# 特集2 読楽 コーナー 開設



株式会社クレオテックからのご寄付により、衣笠図書館とBKCメディアライブラリーに「読楽（どくがく）コーナー」が開設されました。昨年12月のオープン以来、多くの方が利用しています。

図書館の取書基準は学術書中心ですので、これまでは購入出来なかった話題本・ベストセラー本を中心に数多くのタイトルをそろえました。

読楽コーナーは、衣笠：図書館1階ゲートを入れて正面の書棚、BKC：メディアライブラリー（アクロスウィング）2階の進路就職コーナーの隣の書棚に設置しています。

各館にて所蔵している書籍タイトル一覧も置いてありますので、検索し最寄の図書館にて取寄せることも可能です。

多くの方の積極的な利用をお待ちしています。

## 各館の貸出ランキング

### ● 衣笠図書館

順位	貸出回数	『タイトル』 著者（出版者） 出版年
1	36	『この涙が枯れるまで』 ゆき 著（スターツ出版）2007年
2	33	『不動心』 松井 秀喜 著（新潮社）2007年
3	30	『おひとりさまの老後』 上野 千鶴子 著（法研）2007年
4	28	『鈍感力= The power of insensitivity』 渡辺 淳一 著（集英社）2007年
5	27	『ラスト・イニング』 あさの あつこ 著（角川書店）2007年
		『いつまでもデブと思うなよ』 岡田 斗司夫 著（新潮社）2007年
7	22	『女性の品格：装いから生き方まで』 坂東 眞理子 著（PHP研究所）2006年
		『私訳歎異抄』 五木 寛之 著（東京書籍）2007年
		『走ることにして語るときに僕の語ること』 村上 春樹 著（文藝春秋）2007年
10	20	『土の中の子供』 中村 文則 著（新潮社）2005年

蔵書数および利用状況 (2008年2月13日現在)

読楽コーナー蔵書数 / 450タイトル・791冊

■ 衣笠図書館 / 94タイトル・408冊

■ メディアライブラリー / 256タイトル・383冊

\*蔵書数とは複本を含む数です。

のべ貸出数 / 2,589回

■ 衣笠図書館 / 1,406回

■ メディアライブラリー / 1,183回



(2007年12月10日～2008年2月13日)

● メディアライブラリー

順位	貸出回数	『タイトル』 著者 (出版者) 出版年
1	28	『イチニツイテ。(一瞬の風になれ)』佐藤 多佳子 著 (講談社) 2006年
2	27	『バッテリー』あさの あつこ 著 (教育画劇) 1996-2005年
3	24	『ワーキングプア：日本を蝕む病』 NHKスペシャル「ワーキングプア」取材班 編 (ポプラ社) 2007年
4	23	『生きさせろ! 難民化する若者たち』雨宮 処凛 著 (太田出版) 2007年
		『夜は短し歩けよ乙女』森見 登美彦 著 (角川書店) 2006年
6	21	『ヨウイ。(一瞬の風になれ)』佐藤 多佳子 著 (講談社) 2006年
7	18	『鈍感力= The power of insensitivity』渡辺 淳一 著 (集英社) 2007年
8	17	『ドン。(一瞬の風になれ)』佐藤 多佳子 著 (講談社) 2006年
9	14	『頭がいい人の敬語の使い方：仕事がデキる人間が使う究極の話術』 本郷 陽二 監修 (日本文芸社) 2006年
10	13	『ぼくには数字が風景に見える』ダニエル・タメット 著、古屋 美登里 訳 (講談社) 2007年



2007年度後期

# 利用ランキング発表!!

2007年度後期(9月26日～1月31日)に、立命館大学図書館の所蔵資料の中で最も多く利用された資料の、ベスト10を発表!

## 1 Ranking Of The Second Term ベストリーディング

順位	貸出回数	『タイトル』・著者・(出版社)・出版年
1	53	『エントリーシート対策(2008年度版)』福沢恵子著、日経ナビ&就職ガイド編集部編(日経HR)2006年★
2	49	『会社図鑑!(2008 天の巻)』オバタカズユキ、石原 壮一郎 著(ダイヤモンド社)2006年★
3	46	『会社図鑑!(2008 地の巻)』オバタカズユキ、石原 壮一郎 著(ダイヤモンド社)2006年★
4	41	『会社図鑑!(2009 天の巻)』オバタカズユキ、石原 壮一郎 著(ダイヤモンド社)2007年★
5	39	『アトキンス物理化学(上)』P.W.Atkins 著、千原 秀昭、中村 亘男 訳(東京化学同人)2001年
6	37	『中国の歴史(下)』愛宕元、富谷至 編(昭和堂)2005年
7	36	『資格図鑑! 2008 厳選! まる見えガイダンス』オバタカズユキ 著(ダイヤモンド社)2007年★
8	35	『アトキンス物理化学(下)』P.W.Atkins 著、千原 秀昭、中村 亘男 訳(東京化学同人)2001年
		『商社(2007年度版)』小松原 聡 監修(産学社)2005年★
10	34	『分析化学(1) 基礎編』Gary D. Christian 著、赤木 右 ほか 共訳(丸善)2005年

2007年度後期は、進路・就職コーナーの図書(★)の貸出が多く、上図のとおり10位までの10冊のうち6冊を占めています。立命館大学の図書館には「進路・就職コーナー」があり、資格取得や就職を支援する資料を数多く取り揃えています。学部の特徴にあわせて、各館で最新版の資料を提供しています。

資格や就職のことを考え始めたら、図書館の「進路・就職コーナー」に立ち寄って、本を手にとってみてください。

### 「進路・就職コーナー」の資料の一例

- 資格試験の参考書・問題集
- 業界研究の参考書
- 採用試験対策の問題集

### 「進路・就職コーナー」の場所

- 衣笠図書館
  - 1階 レファレンスカウンターの左隣の書架
- BKCメディアライブラリー
  - 2階 入館ゲートの左手の書架
- BKCメディアセンター
  - 1階 貸出カウンターの向かい側の書架







## Ranking Of The Second Term

## 文庫・新書貸出ランキング

順位	貸出回数	『タイトル』・著者・(出版社)・出版年
1	33	『高校生のための経済学入門』小塩 隆士 著 (ちくま新書) 2002年
2	31	『異文化理解』青木 保 著 (岩波新書) 2001年
3	27	『歴史とは何か』E.H.カー 著、清水 幾太郎 訳 (岩波新書) 1962年
		『裁判員制度』丸田 隆 著 (平凡社新書) 2004年
5	26	『女性労働と企業社会』熊沢 誠 著 (岩波新書) 2000年
6	24	『儒教とは何か』加地 伸行 著 (中公新書) 1990年
		『少年犯罪と向きあう』石井 小夜子 著 (岩波新書) 2001年
		『マグダラのマリア エロスとアガペーの聖女』岡田 温司 著 (中公新書) 2005年
9	23	『貧困の克服』アマルティア・セン 著; 大石 りら 訳 (集英社新書) 2002年
10	19	『取調室の心理学』浜田 寿美男 著 (平凡社新書) 2004年
		『ポストコロニアリズム』本橋 哲也 著 (岩波新書) 2005年



## Ranking Of The Second Term

## 視聴覚資料利用ランキング

順位	貸出回数	『タイトル』・監督
1	25	『明日をひらく新素材』映像文化製作者連盟企画
2	15	『Ally McBeal』デビッド・E・ケリー 製作総指揮
3	13	『レインマン』バリー・レビンソン 監督
4	11	『ニュー・シネマ・パラダイス』ジュゼッペ・トルナーレ 監督・脚本、フランコ・クリスタルディ 製作
5	10	『混乱するヨーロッパ』NHKエンタープライズ21日本語版制作
		『マルコヴィッチの穴』スパイク・ジョーンズ 監督、マイケル・スタンプ ほか 製作
7	9	『20世紀の幕開け カメラは歴史の断片をとらえ始めた』NHKソフトウェア
		『Hairspray』/ ジョン・ウォーターズ 監督・脚本、レイチェル・タラレイ 製作
		『アンナと王様』アンディ・テナント 監督、テレンス・チャン 製作総指揮
10	8	『ザ・ビーチ』ダニー・ボイル 監督
		『シザーハンズ：特別編』ティム・バートン 監督、デニース・ディ・ノービ、ティム・バートン 製作
		『ホーム・アローン 4』ロッド・ダニエル 監督、ミッチ・エンゲル 製作

ランキングに様々なタイトルが並んでいるように、図書館では、学術書はもちろん、資格試験の問題集、小説、映画のDVDなど、多彩な資料を所蔵しています。目的に応じて上手に使い分けて、学生生活でフル活用してください。



## 第2回 プロジェクト活動の紹介

前号(104号)では、学生ライブラリースタッフとその基本業務について紹介しましたが、学生ライブラリースタッフは、基本業務に加えて、学生という利用者の視点をいかし、「広報」・「館内サイン」・「ホームページ」・「図書紹介」という4種類のプロジェクト活動を行っています。

学生ライブラリースタッフが発案・企画・実施しているプロジェクト活動のうち、今回は「広報」・「館内サイン」プロジェクトの活動の内容をご紹介します。

### ☺ 広報プロジェクト(衣笠・BKC)

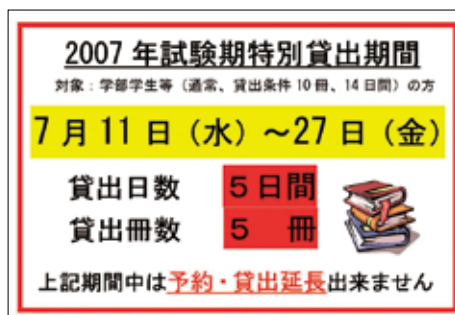
広報プロジェクトでは、主に春と秋に図書館が主催する図書館ガイダンスの広報物作成を行っています。学生の皆さんに図書館のサービスをより早く、わかりやすく伝えることを目標として、プロジェクトメンバー内で自分たちの作成した広報物の検討や意見交換をはじめ、イラストレーターなどの画像系ソフトの勉強会を行っています。

### ☺ 館内サインプロジェクト(衣笠・BKC)

館内サインプロジェクトでは、図書館内での注意事項や施設内の案内となるサインを作成しています。利用者が図書館内で必要な資料を探す手助けとなるように、サインの見直しを行っています。



2007年度図書館ガイダンス案内(BKC広報プロジェクト)



試験期特別貸出期間告知ポスター(衣笠館内サインプロジェクト)



2007年度図書館ガイダンス案内(BKC広報プロジェクト)



質問対応の告知ポスター(衣笠館内サインプロジェクト)

みなさんが普段目になっている図書館ポスターの中には、学生ライブラリースタッフが製作した作品も数多く含まれています。よりいっそう注目して見てみてください。

次回は、ホームページプロジェクト、図書紹介プロジェクトの活動内容をご紹介します。お楽しみに！

# 立命館大学図書館開設百周年 記念展覧会・シンポジウム実施報告

立命館大学図書館は2005年に開設100周年を迎え、  
2005年より3年計画で図書館創立百周年記念事業を行ってきました。  
その最終章として、昨秋、本学所蔵の明治・大正期の資料を中心に  
立命館大学と近代文学のかかわりをテーマとして展覧会・シンポジウムを開催しました。

## 記念展覧会

### 立命館と立命館をめぐる文人たち ～与謝野鉄幹・晶子、山田美妙を中心に～

#### ■衣笠キャンパス 入場者数 505名

日程／2007年10月23日(火)～11月17日(土)

場所／衣笠図書館1階閲覧室

#### ■びわこ・くさつキャンパス 入場者数 153名

日程／2007年11月20日(火)～11月30日(金)

場所／メディアライブラリー内3階多目的閲覧室



展示会の風景(衣笠図書館)

#### 展示会アンケートより

- 与謝野鉄幹・晶子の名はよく知っているが、実際の貴重な資料を目の当たりにできてよかった。これからも大切に保管してほしい。
- 展示してある資料の初版本や「みだれ髪」の英訳本など、表紙だけではなく中身も見えたかった。
- 立命館大学の歴史を再認識すると同時に、近代文学との関わりを知ることができ良かった。
- 立命館大学の学生として、講義で大学の歴史について学んでいたので、展示会と関連づけて見ることでよかった。

## 記念シンポジウム

### 文学・明治二十年前後 — 立命館所蔵資料を手かがりに —

#### ■衣笠キャンパス 入場者数 83名

日時／2007年11月16日(金) 13:00～17:00

場所／衣笠キャンパス創思館カンファレンスルーム

シンポジウムでは、現在、立命館大学貴重資料デジタル化事業がすすめられている白楊荘文庫に関する説明の後、パネリストによる研究報告、全体討議、貴重資料デジタル化事業の進捗報告がされました。参加者は、近代文学研究者であるパネリストの研究報告に熱心に耳を傾けており、全体討議では会場からの質問にパネリストが答える場面もありました。



パネリスト報告の様子



全体討議の様子

## 生命科学部・薬学部の 図書・データベースの充実化

薬学部・生命科学部開設に伴い、びわこ・くさつキャンパスのメディアセンターに、図書・雑誌・データベースが新たに加われました。

立命館大学所蔵の約260万冊の図書、約4万タイトルの雑誌、約70種類のデータベースに加えて、下記の資料を積極的にご利用ください。

- 図 書：約2650冊
- 雑 誌：約30タイトル（外国語雑誌はすべて電子ジャーナルです。）
- データベース：「Medical Online」、「医中誌Web」など

メディアセンター1階閲覧室で日本語の図書、2階閲覧室で外国語の図書を利用できます。また、雑誌は1階の新聞雑誌閲覧室で利用できます。

電子ジャーナルは、図書館ホームページの「E-Journal」から、データベースは、図書館ホームページの「論文・記事検索（データベース）」から利用してください。



## 白川 静 文庫の開設

白川静名誉教授が生前に自宅書齋に所蔵していた學術書・漢籍類のほとんどを寄贈いただき、『白川静文庫』を開設することとなりました。

約1万冊に及ぶ蔵書は、現在衣笠図書館にて保管しています。2008年4月より受入に関する作業を2年計画で行い、2010年4月には利用できるようになる予定です。

白川静先生の名前は『広辞苑 第六版』にも掲載され、白川文字学は社会的に広く知られています。中国古代文字学を中心とした書籍を本学貴重コレクションとして保管・提供することは、今後の學術研究推進にも大きく寄与するものとなります。

辞書・事典のデータベースの「JapanKnowledge」から、白川先生の研究成果である漢和辞典の最高峰の「字通」に触れることができます。

図書館のホームページの「論文・記事検索（データベース）」の「辞書・事典を引く」をひらいて、「JapanKnowledge」にログインしてください。

